

一般社団法人山口県医師会平成26年度第16回理事会

平成26年11月20日(木) 午後5時～午後7時15分

小田会長、吉本・濱本副会長、河村専務理事、弘山・萬・林・加藤・藤本・今村常任理事、武藤・沖中・香田・中村・清水・原・船津理事、山本・武内・藤野監事

協議事項

1 定款等検討委員会への諮問について

12月11日に開催する定款等検討委員会に平成28年度山口県医師会会費の賦課方法及び役員等の報酬、定款及び選挙規則の一部改正について諮問することを決定した。

2 一般社団法人山口県医師会選挙規則の一部改正について

山口県医師会定款の一部改正に伴い改正が必要とされる、選挙規則の改正条項について協議を行った。

3 「国民医療を守るための国民運動」の期間延長と「国民医療を守るための総決起大会」開催延期について

11月21日の衆議院解散・総選挙という事態を受け、標記の国民運動期間の延長及び総決起大会の開催が延期されることになったので、本会が世話人代表を務める「県民の健康と医療を考える会総会」も開催を延期することが決定した。

報告事項

1 郡市医師会学校保健担当理事協議会・学校医部会合同会議（11月6日）

中国四国学校保健担当理事連絡会議及び中国地区学校保健・学校医大会の報告に続き、今年度作成の「改訂第3版：学校検尿主治医精密検査実施ガイドライン」、学校医活動記録手帳の利用状況の報告及び11月30日開催の学校医研修会の進行等について協議した。（藤本）

2 第1回山口県医師臨床研修推進センター運営会議（11月6日）

平成26年度上半期の事業報告後、平成26年度医師臨床研修マッチング、山口県の医師確保対策、山口大学医学部附属病院の取組みについて協議した。（加藤）

3 山口県母子保健対策協議会不妊相談専門委員会（11月6日）

平成25年度の不妊治療費助成制度の実績報告及び不妊専門相談センター・女性健康支援センターにおける相談実績報告が行われ、今後の不妊治療対策の推進について協議を行った。（藤野）

4 衛生検査所立入検査（11月7日）

宇部市内の臨床検査センター1施設の立入調査を行い、前回の指摘事項に対する改善状況の評価及び実施要綱に基づいた検査を実施した。（加藤）

5 第 45 回全国学校保健・学校医大会都道府県医師会連絡会議（11 月 8 日）

今大会の運営について確認後、次期担当県を愛媛県とすることが決定した。

（濱本）

6 第 45 回全国学校保健・学校医大会（11 月 8 日）

「子供たちの明るい未来のために～学校医の新たな役割を考える～」をメインテーマに、午前中に 5 つの分科会（第 1「からだ・こころ(1)：学校保健・安全に関する諸問題や取り組み」、第 2「からだ・こころ(2)：スポーツ障害・生活習慣病」、第 3「からだ・こころ(3)：メンタルヘルス・健康教育」、第 4「耳鼻咽喉科」、第 5「眼科」）が行われた。午後は開会式と表彰式に続き、「保健教育を活かした学校保健」をテーマとしたシンポジウム及び郷土料理研究家の青木悦子氏による特別講演「武士の献立にみる加賀百万石の食文化」が行われた。（沖中）

7 第 134 回山口県医師会生涯研修セミナー（11 月 9 日）

午前中は、本会の野村雅之 顧問弁護士による「医事紛争における問題と対応策」、九州大学生体防御医学研究所細胞機能制御学部門分子医科学分野の中山敬一教授による「がんにおける二つの謎：がん幹細胞とワールブルグ効果」の特別講演 2 題が行われた。午後は、「山口県医療連携情報システムの現状と展望」についてのシンポジウムを行った。出席者は、医師及び医療従事者等 65 名。

（吉本、河村、藤本、今村）

8 宇部市・美祢市・美祢郡医師会との懇談会（11 月 11 日）

災害時医療救護体制、医師会への会員加入促進対策、地域包括ケアへの取り組み等について説明後、意見交換を行った。（河村）

9 社会保険診療報酬支払基金山口支部幹事会（11 月 12 日）

健康保険組合における調剤報酬の直接審査支払の状況、医療費助成事業の審査支払業務の受託に係る取り組み等について報告が行われた。（小田）

10 山口県産業保健連絡協議会・産業医部会合同協議会、産業医部会理事会

（11 月 13 日）

山口労働局健康安全課より平成 26 年 6 月に改正された労働安全衛生法について、山口産業保健総合支援センターの赤川悦夫所長より産業保健総合支援事業について説明があり、各団体から勤労者健康教育の取り組み状況が報告された。引き続き行われた産業医部会理事会では、部会役員の互選があり、平成 25 年度産業医部会決算の報告及び 11 月 22 日開催の産業医部会総会の進行について協議した。（藤本）

11 広報委員会・歳末放談会（11 月 13 日）

会報主要記事掲載予定（12～2 月号）、炉辺談話、tys「スパ特」のテーマ等について協議した。その後、津永委員の司会により「今年的话题を斬る！」をテーマに放談会を行った。（今村）

12 個別指導「山口市」(11月13日)

診療所9機関について実施され立ち会った。(萬、清水、船津)

13 献血ポスター・作文審査会(11月13日)

ポスター148点、作文263点の応募作品の中から、部門ごとに最優秀1点、優秀2点、佳作3点を決定した。(小田)

14 第1回山口県在宅医療推進協議会(11月13日)

山口県が多職種連携による在宅医療支援体制の構築を図るとともに、在宅医療推進のあり方等について協議・検討を行うために設置した協議会であり、山口県の在宅医療の現状と取組状況の説明後、在宅医療のあり方、進め方について意見交換を行った。(河村)

15 男女共同参画部会第2回育児支援WG・保育サポーターバンク運営委員会合同委員会(11月15日)

保育サポーターバンクを利用中の女性医師及び活動中のサポーターから提出された「現況報告」をもとに、問題となっている事項等について協議した。(今村)

16 男女共同参画部会第3回理事会(11月15日)

平成27年3月8日(日)に開催する男女共同参画部会総会のプログラム及び今年度中に実施する「介護に関するアンケート」の質問項目について協議した。
(加藤)

17 第1回母体保護法指定医師研修会(11月16日)

平成26年4月1日に改正した「母体保護法指定医師の指定基準」の施行に伴い、母体保護法指定医師の新規指定及び更新の際に「母体保護法指定医師研修会」の受講が必須となったため、指定基準に則ったカリキュラムにおいて研修会を開催した。受講者56名。(藤野)

18 日本医師会医療事故防止研修会(11月16日)

「インシデントを繰り返さないためのスタッフ教育」「人と組織の心理から読み解くリスク&クライシス・コミュニケーション」「医療安全へのポジティブアプローチ～Safety-IIからTeam STEPPSまで～」「医療版失敗学のすすめ～インシデントから学び、真の医療安全にトライする～」の講演4題が行われた。(林)

19 山口県介護保険研究大会(11月16日)

山口県総合保健会館において、厚生労働省社会保障審議会介護保険部会の山崎康彦会長による基調講演「地域包括ケアシステムの構築に向けて～法改正と報酬改定を巡って～」及び2会場に分かれて、13題の研究発表が行われた。参加者350名。(清水)

20 やまぐち元気フェア in 柳井（11 月 16 日）

主催者団体として式典に出席。本会は、山口県糖尿病対策推進委員会の出展による血糖測定及び糖尿病に関する相談を行い、血糖測定者 323 名、糖尿病相談者 64 名であった。また、日本臨床皮膚科医会山口県支部による皮膚病相談の相談者は 57 名、フェア全体の来場者は約 700 名であった。（河村）

21 エボラ出血熱に関する研修会（11 月 16 日）

山口県環境保健センター所長・地方衛生研究所全国協議会副会長の調 恒明氏による講演「エボラ出血熱の基礎、疫学について」、大阪府済生会中津病院臨床教育部長兼感染管理室長・国立感染症研究所客員研究員の安井良則氏による講演「エボラ出血熱の臨床像・感染防御について」が行われ、その後、山口県健康増進課の國光文乃課長より「山口県の対応について」の説明が行われた。（今村）

22 病院勤務医懇談会「宇部興産中央病院」（11 月 17 日）

勤務医が抱える諸問題、圏内における救急医療の現状と救急当番医の負担軽減等について意見交換を行った。（加藤）

23 日本医師会第 9 回理事会（11 月 18 日）

第 84 回社会保障審議会医療保険部会、第 1 回医療事故調査制度の施行に係る検討会等の報告があった。（小田）

24 第 2 回都道府県医師会長協議会（11 月 18 日）

本会提出議題「インセンティブ導入による公的医療保険料増減制について」ほか各県から提出された 8 題の質問・要望に対して、担当役員から回答が行われた。
（河村）

25 山口県社会福祉協議会第 2 回地域福祉推進委員会（11 月 18 日）

「第 5 次福祉の輪づくり運動推進県域活動計画」の策定及び「地域福祉課題提言部会」について協議を行った。（今村）

医師国保理事会 第 11 回

1 国民健康保険組合被保険者全国大会について（11 月 19 日）

国保組合役員等約 500 名が出席し、組織機能並びに財政基盤の確立を図るなど 3 事項について決議をした。（小田）

2 傷病手当金支給申請について

1 件について協議、承認。

山福株式会社取締役会

出席者：取締役 8 名、監査役 3 名

1 上半期の決算報告について

原案どおり承認された。